

教科名	数学	科目名	数学A	履修クラス	1年全クラス	
				担当者	加藤 慶 小林 正直 黒川 孝夫 岡村 貴彦 宮尾 豊己	
使用教科書		「数学A」・東京書籍			履修単位数	2
副教材等		「ニュースコープ数学I+A」・東京書籍				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方のよさを積極的に活用する態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 例題や問題ができただけでなく、数学に対して想像力を発揮し、独創的な考え方取り組むものを高く評価する</li> <li>● 定期テストはもちろん、出席状況や平常の学習態度宿題の提出や小テストなども評価の対象である。</li> </ul>

年間授業計画			
月	予定時数	単元	学習内容・学習活動
4	中間 調査 まで 12	集合と要素 の個数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集合</li> <li>● 部分集合、共通部分と和集合、補集合</li> <li>● 有限集合の要素の個数</li> </ul>
5			
6	期末 調査 まで 14	場合の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 順列</li> <li>● 円順列、重複順列</li> <li>● 組合せ</li> <li>● 同じものを含む順列</li> <li>● 二項定理</li> </ul>
7			
9	中間 調査 まで 14	確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事象と確率</li> <li>● 積事象、和事象、排反事象</li> <li>● 確率の基本定理、加法定理</li> <li>● 和事象、余事象とその確率</li> <li>● 独立な試行の確率</li> <li>● 反復試行、複雑な事象の確率</li> </ul>
10			
11	期末 調査 まで 14	論証	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 期待値とその計算</li> <li>● 命題と条件</li> <li>● 必要条件と十分条件</li> <li>● 命題の逆・裏・対偶・背理法</li> </ul>
12			
1	学 期 末 考 査 ま で 16	平面図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三角形と比</li> <li>● 内分・外分</li> <li>● 三角形の重心・外心・垂心・内心・傍心</li> <li>● チェバ・メネラウスの定理</li> <li>● 円周角の定理</li> <li>● 円に内接する四角形の性質○円と接線</li> <li>● 接線と弦のつくる角</li> <li>● 方べきの定理</li> <li>● 2つの円の関係</li> </ul>
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公式のたんなる当てはめではなく、基礎概念を根本から理解する</li> <li>● 例題・問題演習など、根気強く丁寧にやる</li> <li>● 家庭学習：数学は毎日3時間勉強する。具体的には、「チャート式数学A (いわゆる赤チャート)」・数研出版の問題を40題(80題は厳しいが40題なら可能である)やる。これを習慣とすれば、駿台模試で偏差値62以上、他の模試では70以上取れる力が確実につく。</li> </ul>